

ナンバリング		授業科目名(科目の英文名)					区分・【新主題】/(分野)		授業形式						
M211N301		疫学 (Epidemiology)					健康科学								
必修選択	単位	対象年次	学部	学期	曜・限	主に使用する言語	その他に使用する言語	担当形態							
必修	1	3	医学部看護学 科	前期	火1	日本語		単独							
担当 教員	氏名 齊藤 功、船越弥生 E-mail funakoshi@oita-u.ac.jp 内線 5732														
授業 の 概 要	疫学は、特定の集団において健康に関連する状況や事象(疾病、死亡、行動など)の頻度や分布を調べ、それらに関連する要因について検討する学問であり、疾病の予防や健康増進に資することを目的としている。疫学的手法は、公衆衛生をはじめ疾病の予後因子の探索や、健康増進プログラムや行政サービスの評価など幅広い分野で用いられている。本講義では、疫学の基本的事項を修学する。														
具体的な到達目標							DP等の対応(別表参照)		1	2	3	4	5	6	7
目標1 疫学的な考え方と基本的な用語を理解する。															
目標2 地域保健活動における疫学の応用について説明できる。															
目標3 健康問題を評価するために既存資料を活用できる。															
目標4 スクリーニングの意義を説明できる。															
目標5 疫学研究における倫理的問題について説明できる。															
目標6															
目標7															
目標8															
目標9															
目標10															
各DPへの関連度(計10)									1		2	4	1	2	
授業の内容															
1 疫学的な考え方とは															
2 疫学的な考え方とは															
3 疫学の基本的な用語を理解しよう															
4 疾病の原因、疫学的な因果関係の考え方															
5 疾病頻度の指標 - 有病と罹患の区別															
6 曝露の効果を表す指標 - 相対危険と寄与危険															
7 疫学研究のさまざまなデザイン															
8 疫学研究の質 - 真実と誤差															
9 保健指導における疫学の応用															
10 人を対象とした研究の倫理															
11 スクリーニング検査															
12 母子保健の疫学															
13 栄養疫学															
14 EBM(根拠に基づく医療)、文献検索の意義と検索方法															
15 まとめ															
ラ イ ク ニ ン グ	A:知識の定着・確認		小テスト			工 夫 の 他 の	インターネットを活用し国内外の疫学研究に触れることにより国際化および情報化社会に主体的に対応できる能力を養う 新しい発想と創造的思考力を養うため学生自らが問題意識を持ち課題を発見し文献を調べ自分の意見を述べる機会を設ける								
	B:意見の表現・交換		講義中に意見を求める												
	C:応用志向		オンライン上文献検索												
	D:知識の活用・創造		レポート(先行研究から得た知識、自分の意見、新しい発想など)												
授 業 時 間 外 学 修 の 内 容 と 想 定 時 間	準備学修		教科書などを用いて次回の学習内容について予習する(5h)。												
	事後学修		教科書・配布資料・小テスト・Moodle(e-learning)を用いて授業で学習した内容を復習する(10h)。												
	想定時間合計		15												
教科書		・大木秀一(著):基本からわかる看護疫学入門(第3版)、医歯薬出版株式会社、2017年、ISBN-13: 978-4263236987.													
参考書		・浅野嘉延(著):楽しく学べる!看護学生のための疫学・保健統計(改訂4版)、南山堂、2023年、ISBN-13: 978-4525053444. ・World Health Organization(著)、木原 雅子・木原 正博(訳):WHOの標準疫学(第2版)、三暉社、2008年、ISBN-13: 978-4901433044.													

成績評価の方法及び評価割合	評価方法	割合	目標1	目標2	目標3	目標4	目標5	目標6	目標7	目標8	目標9	目標10
		課題、レポート	40%									
	期末試験	60%										
注意事項	特になし。											
備考	特になし。											
リンク												
	URL											
担当教員の 実務経験の 有無												
教員の 実務 経験	齊藤功（社会医学系指導医・専門医、日本公衆衛生学会認定専門医、産業医）、船越弥生（管理栄養士）											
実務経験を いかした 教育内容	実務で行っている学校保健分野の疫学調査や保健教育への関与をもとに、公衆衛生活動で必須となる疫学の基本的な知識について講義する。											